



中道改革連合の新代表に選出され、氣勢を上げる小川淳也氏(中央)。前列左から菊田真紀子氏、斉藤鉄夫氏、(1人おいて)階猛氏、野田佳彦氏=2月13日、東京・永田町の党本部

北朝鮮ビジネスに入れ込む中国の友人に勝算を尋ねたのは5年ほど前だ。新型コロナウイルス対策で国境が閉ざされ、私財を投じた案件の現状すらつかめなくなっても、当人は「手は引かない」と言う。その理由は「いずれ北極海航路の時代が来る」という見立てだった。

北極海航路はアジアと欧州を最短で結ぶルートだ。太平洋からベーリング海峡を抜け、ロシア北部沿いの北極海を進む。地球温暖化で海氷が減り、2025年9月の平均海面積は1980年比で4割近く縮小した。中国は「氷上シルクロード」構想を掲げて活用を図る。

石油や天然ガス、レアアース(希土類)など豊富な資源が眠る北極圏は大国間競争の主戦場となり、中国にとって日本海の重要性が増す。日本海に面する北朝鮮の地政学的価値も高まる

04 特集 政治行政アナリスト・金城大学客員教授 本田雅俊

ゲーム
チェンジの
行方

自民`大勝、の光と影 真の評価は「2年半後」に

08 水谷竹秀×リアルワールド
停電と極寒に絶望 侵攻4年

03 風向計
氷上のシルクロード

09 経済双眼鏡
ダボスで激突の欧米
決断を迫られる日本

10 きさらぎ会講演
渡辺博史・元財務省財務官
グループ化で米中に対抗力
不安定化進む世界で日本の課題

12 カニササレアヤコのNEWS着休め
「集める」狂気と愛

13 カカツ! 通信 野村義樹
成熟市場で
「生」餃子が成長中

14 映画の森 田中雄二
2月の映画

16 グリーン&ブルー 青山浩子
いまこそ見直したい量文化

17 口福の源 安武郁子
一口を大切に
生きるということ

18 <ら2026
小学生から「生理外来」
「つらさ、我慢しないで」
受診に高いハードル

20 旅作家 小林希の島日和
船と共に島で暮らす私たち

21 本の森 加藤木綿美
街の背景にある
メカニズム

22 HOT INFORMATION

23 今週の動き・ART探訪



風向計

氷上のシルクロード

型船は航行できない。中国は北朝鮮北東部の羅津港まで陸路、貨物を運んでいる。

ロシアのプーチン大統領が2024年5月に訪中した際、習近平国家主席と発表した共同声明には「中国船舶が図們江下流を経て海に出ることについて北朝鮮と建設的対話を行う」と盛

いと友人は力説した。現代中国は日本海への直接の出口がない。清朝末期の1860年、ロシアに沿海州を割譲したためだ。中朝国境をなす豆満江(中国名は図們江)は、日本海に流れ出る直前で口朝国境となる。土砂がすぐ堆積する上、口朝を結ぶ古い鉄道橋が邪魔して大

り込まれた。北朝鮮にとっては、認めれば羅津港がお払い箱になりかねないが、中国から投資やエネルギー供給を引き出す余地も生まれる。

翌6月に訪朝したプーチン氏は「包括的戦略パートナーシップ条約」を結んで軍事同盟を復活させた上、豆満江に自動車橋を

架ける協定を締結した。衛星写真を見ると工事が急ピッチで進む。橋の高さはどの程度か。船が下をくぐるかが気になる。

友人はロシアのウクライナ侵攻は予期できなかったものの、北極圏に関する読みそのものは外れてはいない。米口両国は北極圏の鉱物・レアアースの共同

開発を議論しているとも報じられ、トランプ米大統領は軍事力行使までちらつかせてデンマーク領グリーンランドに並々ならぬ執心を示す。韓国が原潜保有を目指すのも北極海航路への思惑含みだと韓国軍関係者は明かす。カナダも潜水艦増強にかじを切り、韓国とドイツの企業をてんびんにかけている。

北極海航路の将来は自然に加え、国際政治に左右される。目下の焦点はウクライナ戦争が終るかどうかだ。スエズ・パナマ運河が通れなくなったり、中台緊張で南東シナ海のシーレーン(海上交通路)が脅かされたりすれば代替航路としての価値は跳ね上がる。風が吹けばおけ屋が、ではないが、世界は案外、ダイレクトにつながっている。

(共同通信社外信部長 井上智太郎)

表紙イラスト「梅にウグイス」 廣川智也(ひろかわともや)

2000年生まれ。静岡県出身。ヒューマンアカデミー静岡校マンガカレッジ専科卒業。上月財団による第21回(24年度)「漫画家・アニメーター育成事業(旧:クリエイター育成事業)」認定者。縁起のよい梅とウグイスを取り入れて、見た人に春の訪れを感じてもらえるように描いた。

本誌へのご意見、ご感想がございましたら、編集長の荒木正人までお寄せください。

✉ araki.masato@kyodonews.jp
☎ 03(6252)6046

衆院選挙の結果を伝える新聞各紙には「自民圧勝」「歴史的勝利」などの見出しが躍った。公明党の連立離脱や政党支持率の伸び悩みから、当初、与党の苦戦を予想する者もいたが、自民党は公示前の議席を118も上回る316を獲得した。衆院の絶対安定多数どころか、戦後初めて単独で「3分の2」以上の議席を得たためだろう、昨年10月とは大きく異なり、高市早苗首相は自信をみながら第2次政権を発足させた。だが、「一強」となった高市政権にも課題はあるし、落とし穴もある。参院では少数与党のままであることに変わりはない、高市政権の真の評価は「2年半後」に下される。

ゲームチェンジの行方

自民“大勝”の光と影 真の評価は「2年半後」に

政治行政アナリスト・金城大学客員教授 本田雅俊

ほんだ・まさとし 1967年富山県生まれ。内閣官房副長官秘書などを経て、慶大院修了(法学博士)。武蔵野女子大助教授、米ジョージタウン大客員准教授、政策研究大学院大准教授などを経て現職。主な著書に『総理の辞め方』『元総理の晩節』『現代日本の政治と行政』など。



う。もともと高市首相は直観に頼るところが大きく、今回も自身の勝負勘に賭け、それがその見事に的中した。それに、そ

もより直観の背景には、しただか目算もあつた。内閣支持率は7割前後の高水準で推移してきたが、その実態は実績に基づく評価ではなく、まだまだ期待の域を出ないものだ。そし

一部マスコミが高市首相による衆院の電撃解散を報じたのは、年明け早々の今年1月9日のことであつた。後に「支持率が高いうちに解散するのは常

識」と援護したものの、「政権の生みの親」(自民中堅)の麻生太郎副総裁や鈴木俊一幹事長にさえ事前の相談はなかつたとい

日本列島

自民党

選挙



メディアのインタビューに答える自民党総裁の高市早苗首相=2月8日、東京・永田町の党本部

て歴史を紐解くまでもなく、期待がそのまま評価に結びつくことは稀である。それどころか、なかなか表れない物価高対策の効果、あるいは「政治とカネ」や旧統一教会をめぐる問題などが通常国会で厳しく追及されていれば、政権にとって痛手となり、支持率が陰りが生じていたかもしれない。

保守回帰の傾向

衆院が解散されると、野党は一齐に「大義がない」と非難した。中には首相の恣意的な解散を問題視する者もいた。だが、どれもこれも準備不足の言い訳のたぐいにすぎない。スポーツでは試合に負けた日から次に向けての練習が始まるが、野党各党、とりわけ立憲民主党は明らかにそれを怠り、高市首相に見透かされて「桶狭間の戦い」は強者の驕りや油断を戒めるためにしばしば用いられる表現だが、今回の解散劇では少数党のほう

に油断があつた。外国人問題や台湾問題への世論の動向に対しても、高市首相やその周辺は目を凝らした。若年層ほど高市政権の保守的な政策を支持し、無党派層においても保守回帰の傾向が強く表れた。今回の選挙では、自民党は比例区で合計2102万票を獲得したが、公明党と連立を組んでいたときでさえ1800万票半ばだったことにかんがみれば、かつての「小泉旋風」のときのように自民党の票が爆発的に増えたわけではない。むしろ56.26%という低い投票率の中で、保守層の支持を確実に票に結びつける戦略が大成を取めた。

自民党内にも、真冬の選挙や予算成立の遅れへの強い不満があつた。積極財政やアジア外交で高市首相と異なるスタンスをとる者もいる。選挙期間中の「外為ほくほく」発言やNHK討論番組の直前欠席に眉をひそめる関係者もいた。だが、「泣く子と

高支持率には勝てない」（閣僚経験者）ものであり、まさに「勝てば官軍」となる。今回の大勝で高市政権の打ち出した政策は加速するだろうし、裏金議員たちの復権も進むことになる。

新党結成で「化学反応」起きず

窮余の一策とはいえ、立憲と公明による中道改革連合の結成には誰もが驚いた。東京都の小池百合子知事に「ちょっとデジャブ（既視感）がある」と皮肉られるが、一時期は「かなり手ごわい」（自民若手）と恐れられた。

だが、わずかな微風が吹くこともなく、中道は公示前の議席を3分の1まで減らす大惨敗を喫した。小沢一郎氏や岡田克也氏、枝野幸男氏、安住淳氏らの重鎮たちも軒並み「討ち死にし、中道は瞬く間に、消滅可能性政党」と化したのだ。

中道勢力の結集にはブラスの「化学反応」が期待されたが、極めて控え目に言っても「1足す1いて、適度な振りの論理」で疑似政権交代が起きたことだ。だが、保守色を強く押し出さなければ自民党は選挙で勝てないとの見方が定着することによって揺り戻しは起りにくくなり、結果的に長期政権の「保険」を失うことになりかねない。右旋回しかできないハンドルは、車体全体にとって危険なのだ。さらに、将来の「反動」の可能性も懸念される。

当面、高市首相にとって最も注意すべきことは、国民が「こんなはずではなかった」と裏切られた感を抱くことだ。高市首相は高い支持率を誇るが、先の自民党の選挙公約をつぶさに読んで有権者は皆無に等しいし、選挙公約にも数値目標や実施期限、財源などは明記されていない。高市首相が想定外の政策を打ち出したり、実行力を見せなかつたりすれば、国民は目をぼちくりさせ、期待が瞬く間に失望に変わるだろう。飲食料品消費

が2に届かなかった」（野田佳彦前共同代表）。たとえば前回衆院選の比例区で両党は合わせて1752万票を獲得したが、今回、中道の得票は自民の半分の1043万票にすぎなかった。高市首相の勝負勘が冴えたのに対し、同じ松下政経塾出身ながら、野田氏の奇をてらう賭けは見事に外れたわけだ。「万死に値する」と詫びたのも当然だろう。

結党当初から、中道は「選挙互助会」「野合」などと痛罵された。生活者ファーストを謳った。基本理念や選挙公約は掲げられたが、いずれにもわか仕立ての感が極めて強い。憲法改正や安全保障、エネルギー政策などについても十分に煮詰められた形跡はなく、抽象的な表現が目立つ。新党に参加したのが両党の衆院議員だけで、参院議員も地方議員も別々のままであることにも大きな疑問符が付けられた。極めて楽観的ながら、参院選



記者会見に臨む中道改革連合の野田佳彦前共同代表（左）と齊藤鉄夫前共同代表=2月9日午前0時30分、東京都内のホテル

他党との関係も微妙になった。自民党は単独で衆院の「3分の2」以上を獲得したため、維新との連立は数の上では不要になったし、国民民主にもあえて協力を求めなくてもよくなった。

しかし、妥協や譲歩をすることなく、自民党が再議決権を行使しながら自党の政策をどんどん押し進めれば「数の驕り」「大政翼賛会」などと批判される。

ならば保守政権への批判票の「受け皿」として中道はもう少し支持を集めたかもしれない。

だが、本来、衆院選は政権選択選挙であり、多数党が内閣を組織するものだ。このような急ごしらえの「暫定政党」が政権の「受け皿」として有権者に認識され、任されるわけではない。そもそも中道の首相候補が誰なのかさえ、明確ではなかった。こうした野党への不満も、結果的に自民党を利した。

小選挙区の自民候補たちが心配したのは、各選挙区に1〜2万票あるといわれる創価学会の行方だった。しかし、26年間の協力関係から、地方ではいきなり「昨日の友は今日の敵」に頭と行動が切り替わらず、急展開の新党結成についていかなかった。学会員も少なくない。公明の地方議員は中道候補の応援に駆け付けたが、出口調査などを見る限り、学会票の一定数は引き続き自民候補に流れ、存在感を

発揮するには至らなかった。

中道も立憲も公明も、完敗のシヨックが大きくて当然だろう。だが、政権交代はまったく期待されなかったものの、相手が「一強」だろうと、臆せず政権監視機能を発揮することは野党の厳粛な責務だ。参院では依然として野党が多数を持っている。中道のまま進むのか、あるいは元の形に戻るのかはともかく、「時代遅れ感のないリーダー」の下で野党勢力を立て直すことも喫緊の課題だ。昨年、英国労働党は苦節14年で政権交代を実現したが、ただ待っていて、海路の日和が来たわけではない。

「天王山」は2年半後

一方、政権基盤の強化に成功した高市首相は、財政や安全保障などの分野で一段と保守色を強めるが、自民党はもう手を挙げて喜んでいいのかどうかは議論が分かれる。自民党の長期政権の秘訣の一つは、党内野党がどと言われはじめても、それだけで支持率は10%近く下落するだろう。しばらくの間、多勢に無勢で野党には悲愴感と無力感が漂うかもしれないが、大量の与党議員を眺めながら、週刊誌をはじめとするマスコミはすでに手ぐすねを引いて待っている。何らかの容疑で地検特捜部が動くようなことでもあれば、それだけで政権に激震が走る。

高市首相自身の人気で自民党を「爆勝」させた以上、順当に考えれば、来年9月の自民党総裁選で再選されることはほぼ間違いない。国政選挙は2年半後の参院選までない。つまり、高市首相は「巨大与党」と「黄金の2年半」の両方を手に入れたため、理屈の上では思い通りの政権運営を行えるし、当然、成果を残していかなければならない。高市政権にとっての真の「天王山」は今年ではなく、場合によっては衆参同日選となる2028年の夏に訪れる。

みずたにたけひで ノンフィクションライター、1975年生まれ。上智大学外国語学部卒。2011年「日本を捨てた男たち」で第9回開高健ノンフィクション賞を受賞。10年超のフィリピン滞在歴をもとに「アジアと日本人」について、また事件を含めた現代の世相に関しても幅広く取材。

水谷竹秀 × リアルワールド



停電と極寒に絶望 侵攻4年

1年ぶりにメッセージを送ってみると、現地の深刻な状況を伝える返信が届いた。「周りの環境はますます厳しくなっています。最近では停電のせいで時間の感覚がおかしいです。今日は寝たのが朝7時で、夜中はずっと起きていました。実はウクライナからめっちゃ出たい」

「40時間電気がずっとなかった。46分間電気が使えるようになってまた停電。スマホの充電もできないし、料理もできないし、掃除もできないし……」

停電によって日常生活は「できない」ことで溢れた。このため私はリュボフさんへの電話は控え、2月上旬に1週間ほど、メッセージでやり取りを重ねた。

キーウではエネルギー施設への集中攻撃の影響で停電が常態化している。さらに悪天候により、復旧作業も遅れている。クリチコ市長は

ロシア軍がウクライナに侵攻した4年前、私がキーウを拠点に1カ月半、取材をした時、通訳を務めてくれたのがリュボフさんだった。当初は「国を守るためなら武器も持つ覚悟です」などと意気込んでいたが、いつまでも終わらない戦争状態にさすがに精神が疲弊しているようだった。

2月8日「今後数日は厳しい寒さが予想され、緊急停電が続く」と通信アプリに投稿した。エネルギー省によると、1



自宅近くの破壊された建物前で語るリュボフさん (2022年4月、筆者撮影)

日に2時間程度しか電力が供給されておらず、夜間の気温は氷点下20度前後まで下がる。リュボフさんはマンションの1室に夫と犬と一緒に住んでいるが、部屋の温度は12度。食事はパンやファストフードを1日1回食べる程度で、温かいポルシチはしばらく食べしていないという。

「バス動員もあるので外出はできません。(バス動員は)英語では『バスフィケーション』と言います。戦争時の造語です。路上でバスに乗せられ、十分な訓練を受けないまま最前線に送り込まれることも多いのです」

このバス動員の背景には、戦争の長期化による兵士不足がある。「お姉さんの夫はつい3日前に徴兵されました」

「この壊れていく現実には絶望感の方が強くなっています。以前なら仕事や活動に没頭したり、何かで気を紛らわせて耐えられていたことも、今はもう感情の限界に近く、受け流す余裕がありません。ずっと張り詰めていたものが、今まさに一気に噴き出しているような感覚です」

ウクライナのゼレンスキー大統領はこのほど、米国から戦争終結の期限として今年6月を提示されたこと明らかにした。

「仮に和平合意が成立したとしても、ロシア側はウクライナ人への残虐行為を続けるでしょう」リュボフさんは絶望と不安に打ちひしがれている。

ダボスで激突の欧米

決断を迫られる日本

スイスのダボスと聞いてノーベル文学賞作家トーマス・マンの「魔の山」を連想する読者がいたら相当な文学通である。特効薬のなかった結核患者用のサナトリウムが戦前に林立し、小説の舞台となった。

高級リゾートとして今なお有名だが、紹介するのは欧米の政財界の要人が1月に集う世界経済フォーラムの年次総



ダボス会議の会場=1月19日、スイス東部ダボス

会いわゆるダボス会議。世界経済を集中討議する。地球温暖化などアカデミックで示唆に富む議論が多く、その動向が毎年注目を集めてきた。だが、今年は違った。原則を無視し、正義や道徳とは真逆の利権や損得で判断、軍事力や関税の武器化で迫るトランプ米大統領に乗っ取られ、修羅場と化した。叡智の結集するリード役どころか世界は分断の転換点にあることを見せつけられた。

会議のテーマは「対話の精神」。G7(先進7カ国)からは高市早苗首相を除く6人のトップが集結。マクロン仏大統領は「帝国主義的野心が再び現れつつある」と手厳しく批判。欧州委員会(EU)のフォンデアライエン委員長も「古い秩序はもう戻っては来ない」「新たな形の欧州の

経済双眼鏡



自立を構築する機会」と米国依存からの脱却を訴えた。

米大統領は、グリーンランド(デンマーク自治領)領有について「武力は使わない」と従来の姿勢を変えたものの「われわれの領土」「獲得を議論する交渉を始める」とあらためて宣言。欧州8カ国に対する追加関税の撤回表明はあったが一段と軋轢が強まるのは避けられない。列強が世界を分割し、植民地や勢力圏を求めて支配した「力が正義」の帝国主義、否、それ以前の保護貿易で国富の拡大を目指す重商主義の時代への回帰なのか。

カナダのカーニー首相は、「世界は断絶のさなか」「同盟関係はもはや安全や繁栄を保証しない」と力説した。人権、主権、持続可能な開発などを軸に中堅国家が連携して新しい秩序を築こうと提唱、当然のように米大統領の逆鱗に触れた。

かつては10%以上だった世界の国内総生産(GDP)に占める割合が今や3%台となり、英国にも近く抜かれる見通しの中堅国家日本はどうか。片山さつき財務相が政権の経済政策を説明したがやはり高市首相が出席し、発信すべきだった。

先の総選挙直前にトランプ大統領は高市氏全面支持を打ち出した。欧州・カナダの結束による孤立への懸念、あるいはイラン問題での焦りがあったのか。フォンデアライエン委員長は総選挙圧勝直後の高市首相へメッセージを送り、EUとの連携強化を迫った。長年の同盟国を威嚇し国富の拡大を目指す予測不能な米国への追従を日本はなお続けるのか。それとも欧州・カナダとの連携、あるいは第二の道を歩むのか。絶妙な決断を迫られている。

(茨城大学名誉教授 古賀純一郎)

～きさらぎ会講演～

渡辺博史・元財務省財務官

グループ化で米中に対抗力

不安定化進む世界で日本の課題

わたなべ・ひろし

1971年国家公務員試験・司法試験合格、72年東京大学法学部卒業、同年大蔵省(現財務省)に入省。国際局長、財務官などを歴任。2013年より16年まで国際協力銀行代表取締役総裁。16年10月より公益財団法人国際通貨研究所理事長、25年4月より東京成徳大学客員教授。



共同通信社きさらぎ会の1月東京例会が開かれ、元財務省財務官の渡辺博史氏が「不安定化する国際社会の中での日本の課題」と題して講演。世界はトランプ米大統領という不確定要因に加え、中国の外交環境の悪化など不安定化が進む中、日本としては「西太平洋経済圏みたいなものを作り、中間を増やしていく必要がある」と述べ、グループ化で対抗力を付けていくことの重要性を強調した。(1月23日に行われた講演の要約、編集制作部)

国連のグテレス事務総長が環境問題について、地球は温暖化ではなく沸騰化と言っているのにならば、国際社会は課題の不安定化ではなく、崩壊中といった方がよいのではないかと。アメリカのトランプ政権の中でも、国際秩序は今までとは全く変わると言っているとすると、予見可能性がほとんどなくなる世界に入ってきている。そうい

う中で何をやっていくか。

グリーンランド問題も含めて、関税で攻めていくというのがアメリカのスタイルなので、そこからお話をしたい。

1980年代以降、グローバルイゼーションという中で、人物、お金、情報が自由に動く世界になったが、トランプ氏がぶち上げたのが、関税をかけることで貿易収支の赤字を解消し、工場をアメリカに誘致して雇用をしっかりとさせようということだった。それは自由貿易を阻害するのだが、その被害者が誰かということについてはいろいろ議論がある。

アメリカに物が売りにくくなる相手国のみならず、国内の物価が上がることでもアメリカ国民にも負担が増す。結果として全世界がよくならないのではないかと。ということで、国際通貨基金(IMF)などは、世界の経済成長率は1%ぐらい下がると予想している。

上るインフレ率

ただ、アメリカ経済の現状を見ると、物価はあまり上がっていないし、雇用も大騒ぎしたほどには悪くなっていない。物の売れ行きも懸念していたほどではない。その理由は、15%の関税は、輸入価格が最終価格の6割程度とすれば、その部分にかかかっていない。さらに売られている物の半分程度は、関税がかかる前の昨年4月以前に輸入されたもので、課税を逃れている。これから先、売られる物全部に課税されたときにどうなるか。インフレ率はじわじわと上がってきている状況だ。

そういう中で日本企業は、何でアメリカと貿易を続けられているかという点、1ドル1120円から150円に円安が進んだ時、ドル建ての値段を変えなかったため、大きな利益となってきた。今、その部分を吐き出すことで、値段の調整をしてい

るわけだ。韓国なんかもそれに近い。

ただ、世界的に見ると、ドルはどんどん安くなっているが、円に対しては高くなっている。こうした状況に対してトランプ氏は必ずしも釈然としない感じがある。ドルは安くなってほしいが、ドルは買ってほしいという二律背反のことを言いながら、それぞれの国がどう対応するかを見ているわけだが、どうも一貫した姿勢が見えてこない。

これから先、アメリカ、日本の金利が動いていく中で、調整が起これると、そうやって無理してやっていると限界が来る。それがいつ頃来るか、見ていかなければならぬ。

トランプ氏はまた、アメリカで物を作れと言っているわけだが、思ったようにはなっていない。日本製鉄のUSスチール買収に見るように、アメリカの気持ちの良い入り方しか認めないとなると、経済合理性で判断す

る基準とは違ってくる。アメリカにどうやって入れればよいのか、めどが立たないということでも、実際の準備は遅れてきている。

問題は中間選挙

一方、アメリカ経済は思ったほど悪くなっていないが、伸びは止まっている。一つの理由は労働者が入って来なくなっているためだ。アメリカ経済は世界中から人が来ることによって維持されてきたわけだが、それがうまくいかなくなっている。

では、これから先、どうなっていくのか。問題は今年11月の中間選挙がどうなるかだ。中間選挙は大体、政権与党に対する批判票が多くなる。今、共和党と民主党の下の差は7票しかない。下院は民主党が多数になりそう。上院もやってみないと分からない状況なので、議会と大統領との関係は今より少し複雑になるかもしれない。議会が言うことを聞かない

ら、大統領令でやるという方向に走るかもしれない。関税も大統領令で行われている。今、各地で関税を巡る訴訟が起きており、今までは全部、憲法違反という判断になっている。まだ最終結論は出ていないが、違憲になったとしても、経済戦争の時には大統領令でできると言っている。トランプ氏は頑張るだろう。

こう考えていくと、人物、お金、情報が自由に動く世界にはもうならないだろう。一部の物については制限をかけ、それ以外のお互いに困らない物は融通し合うといった緩い形のグループングが、どんどん起こってくるのではないかと。

止まる世界の経済成長

ただ、二つの問題がある。一つは一番安く一番良い品質の物を買うのは難しくなる。もう一つは、世界経済をリードしてきたのは、アメリカと中国だったわけだが、アメリカはトランプ

氏という不確定要因によって予見可能性がなくなっている。中国は外交環境が非常に悪くなっており、この二つの国にお金が回らなくなっている。従って、本来伸びていたような世界の経済成長は止まっていく。そういう中で日本の立場はどうなるか。安全保障の関係ではアメリカに頼らざるを得ないが、アメリカあるいは中国に日本がどういう形で対抗していくかという意味で言うと、仲間を増やしていく必要がある。ヨーロッパがトランプ氏にいじめ抜かれているので、われわれにすり寄っているところがあるし、イギリスも今、日本に頼ってきている。

そういう国々と東南アジア諸国連合、ニュージーランド、オーストラリアとの間で、西太平洋経済圏みたいなものを作っている、同じような声を出す人がこれだけいる、という形を求めていく必要があると考える。

中カツ!通信

野村義樹(のむら・よしき)中華
團歴22年目。妻、娘2人と上海在住。
現地のビジネスや生活をメルマガ
「中カツ!通信」にて配信。

中国では2月17日から春節(旧正月)を迎え、街は新年の赤い飾り付けに染まった。こちらでは、旧暦の大晦日に年越しそばではなく、家族で餃子を包んで食べる習慣がある。餃子の漢字にも含まれる「交子」は「年の変わり目」を意味し、水餃子を食べることで旧年から新年への移行をお祝いする意味を持つ。

また餃子は古代の通貨「元宝」に形が似て「金運を招く」ともいわれ、包む行為自体が「福を包む」象徴でもあるのだ。ただ近年、核家族化や都市生活の忙しさもあり餃子を包む家庭は減りつつある。その分、水餃子やワンタンを売る外食店や冷凍餃子の種類も増えてきており、工商データでは中国本土に約13万9千社の餃子関連企業がある。

2500年前の遺跡から餃子らしきものも見つかった。



成熟市場で

「生」餃子が成長中

しており歴史的にも国民食といえる餃子。この成熟市場で急成長中の企業が「袁記雲餃」だ。創業は2012年と「餃子企業」としては新米で、創業者も職人とは程遠い1990年代生まれの体育大学卒業生である。2022年に約43億元(約967億円)だった売上高を2024年には約62億元(約1400億円)まで伸ばし、2025年9月には4266店舗にもなり、香港証券取引所への新規上場を申請した。

餃子、ワンタンといったありふれた商品で急成長できた主な要因は、味や価格による差別化だけではない。彼らは「冷凍」もしなければ「加熱(茹で)」もせずに、「生」を売りにしたのだ。



「袁記雲餃」は外食店舗だけでなく、八百屋、肉屋が集積する町の市場エリアに「生餃子(茹でる前)」を持ち帰れる専門店を増やした。各店舗は単なる販売拠点ではなく、手作りの場でもある。セントラルキッチンで作った餃子やワンタンは皮が薄いほど美味し、という人もいるが、破けてしまっただけでは台無しである。「袁記雲餃」が上場という「金運」をつかむためには、福がこぼれてしまわないように、さらに管理体制を厚く包括的にしていけるかが試金石だろう。

※写真はすべて上海市内11月筆者撮影

カニササレアヤコの

NEWS | 箸休め



かにさされ・あやこ お笑い芸人・ロボットエンジニア。1994年神奈川県出身。早稲田大学文化構想学部卒業。人型ロボット「Pepper(ペッパー)」のアプリ開発などに携わる一方で、日本の伝統音楽「雅楽」を演奏し雅楽器の笙(しょう)を使ったネタで芸人として活動している。「R-1 ぐらんぶり 2018」決勝、「笑点特大号」などの番組に出演。2022年東京藝術大学邦楽科に進学。

「集める」狂気と愛

「アーカイブ」をテーマに作品づくりを行うワークショップが藝大で開催されており、数カ月にわたって参加している。

主軸となる目的は、「藝大図書館で一度も借りられていない書籍の活用」。参加学生が各々の「お宝」の歴史の無い本を探し出し、その本からインスピレーションを受け何か作品を作ってみようという取り組みだ。

集まった本は、風景の写真集からGHQ(連合国軍総司令部)による日本教育の調査記録、ヘビメタのレコードジャケットをひたすら集めたフランスの同人誌などさまざま。

これらの本から作品を作る、と言われても漠然としている。自然と「アーカイブとは？」というところから話が始まった。こういう作品づくりの場では、雑談を交わしてお互いのバックグラウンドや考えを共有し、話し合いの空間を色々な感覚、記憶、知識で満たして、その中から創作のヒントを手繰り寄せていく。



筆者が集めているのは「いい感じの石」

ある人は「近所の蕎麦屋のタヌキを撮り溜めてるんです」と言っていて、信楽焼のタヌキばかり数年にわたって撮り続けた写真フォルダを見せてくれた。日によってなんとなくタヌキの表情が違う。「いいな」と思った日にタヌキを撮り続け、どこに発表するわけでもなくスマホに残しているのだという。スクロールすると、すっぱけたタヌキの顔がパラパラ漫画のように何百枚も映し出された。

それってまさにアーカイブだね、という話をしていると、別の人も「僕も実は撮り溜めているものがある」と声が上がった。近所の公園に描かれた「Free Palestine」の落書き。都内の色々な

場所で見かけるから、おそらく誰か1人の人が描き続けているのではないか。その落書きを、犬の散歩で公園を通るたび毎日1枚撮っているのだという。

落書きは陽に晒され、今はもうかすれてほとんど字が読めない。はじめて見る人には何が書いてあるかわからない、でも自分はずっと見てきたから知っている。「Free Palestine」が薄れていく様子を、ただ毎日観測しているのだ、とその人は落ち着いた声で語った。

こういうアーカイブって、「今日はじめられる狂気」だね、と誰かが言う。1枚だけでは普通だけれど、それを継続して重ねていくと、何か執念めいた凄みが出てくる。

でもきっと、「観測する」ってとても愛情深い人間の営みだ。誰かがずっと見ていてくれることで、救われる物の魂がある気がする。

日々の片隅にある風景を、誰に言うでもなくアーカイブしている人がいる。あなたは何をアーカイブしていますか、と周りの人に問うてみたくなった。

K

映画の森

2月の映画

★は五つ星が満点。映画製作の現場を長年取材している筆者の独断と偏見に基づき評価した。

「ほどなく、お別れです」
 (2月6日公開)★★★★★

故人も納得できる葬儀とは

就職活動に苦戦する清水美空(浜辺美波)には、亡くなった人の姿が見え、声を聞くことができるという秘密があった。そんな彼女の能力に気付いた葬祭プランナーの漆原礼二(目黒蓮)は、美空を葬祭プランナーの道へと誘う。



©2026「ほどなく、お別れです」製作委員会

長月天音(なかつまね)の同名シリーズを三木孝浩監督が映画化。故人の霊と会話ができる主人公というファンタジー的な設定を用いて、故人の思いを遺族に伝えることで、「残された遺族だけでなく、故人も納得できる葬儀とは何か？」という問いが浮かび上がる。その中で、「おくりびと」の本木雅弘同様、本作でも目黒が「納棺の儀」を執り行うシーンが見せ場となる。また、舞台は東京・墨田区周辺ということとで東京スカイツリーがさまざまな角度から画面に登場することから、かつ

「煙突の見える場所」という名作映画で、千住のお化け煙突が象徴的に映ったように、今や下町のランドマークとなったスカイツリーが下界の人々を見守っているような不思議な印象を受けた。

「クライム101」(13日公開)★★★★★
 犯罪の裏側にひそむ人間模様



米西海岸沿いを走るハイウェイ101号線上で、数百万ドルの宝石が消える強盗事件が多発。デーヴィス(クリス・ヘムズワース)の4年間にも及ぶ犯行は完璧だったが、犯罪組織からの追跡や警察内部の陰謀、そしてルー刑事(マーク・ラファロ)の執拗な捜査網にそれぞれの思惑が絡み合い、デーヴィスの犯罪計画とルールは崩れていく。

現代アメリカを代表する犯罪小説作家ドン・ウィンスロウの原作を、豪華キャストの共演で映画化したクライムアクション・アニメルズ」のバート・レイントン



©2025 FOCUS FEATURES LLC.

「ブトニア」(13日公開)★★★★★
 予測不可能な展開を見せる不条理劇

製薬会社のカリスマ経営者ミシエル(エマ・ストーン)が何者かに誘拐される。犯人は、ミシエルが地球を侵略する宇宙人だと固く信じる陰謀論者のティディ(ジェシー・プレモンス)と彼を慕ういとこのドン。2人は彼女を自宅の地下室に監禁

し、地球から手を引くよう要求する。ミシエルは何とか彼らを言いくるめようとするが、互いに一歩も引かない

駆け引きは二転三転する。荒唐無稽な誘拐劇は予想外の方向へと転じていく。鬼才ヨルゴス・ランティモス監督とストーンは、本作が5度目のタッグとなった。ブラックユーモアに満ち、予測不可能な展開を見せる一種のSF不条理劇。こうした、妙な、変な世界、にすぎずると引きずり込まれていく感じがするのがランティモス作品の真骨頂であり、魅力でもある。ストーンが頭を剃り上げて熱演を見せ、第98回アカデミー賞では作品賞、主演女優賞など計4部門にノミネートされた。今はこういうタイプの映画が評価される時代なのだ。

「木挽町のあだ討ち」
 (27日公開)★★★★★

時代劇の魅力を存分に味わえる



©2026「木挽町のあだ討ち」製作委員会

ある雪の降る夜、芝居小屋のすぐ横で、美しい若衆・菊之助(長尾謙杜)による仇討ちが成し遂げられた。父親をあやめた博徒の作兵衛

(北村一輝)を斬り、その血まみれの首を高くかかげた快挙は多くの人々から称賛された。ところがその1年半後、菊之助の縁者だという総一郎(柄本佑)が仇討ちの顛末を知りたいと芝居小屋を訪れる。直木賞と山本周五郎賞を受賞した永井紗耶子の同名小説を源孝志監督が映画化。仇討ちに始まり、聞き手と証言者によつて徐々に真相が明らかになるというミステリー仕立てが面白い。その証言の中から、元判問の木戸芸者(瀬戸康史)、元武士の立師(滝藤賢二)、衣裳部屋の女形(高橋和也)、木彫師の小道具方(正名僕蔵)、元武士の戯作者(筋書(渡辺謙))という芝居小屋の人々の半生が浮かび上がる。そこに彼らの菊之助への思いや芝居小屋への矜持も加わる構成が見事。多彩な俳優たちの演技も含めて時代劇の魅力を存分に味わうことができる。

「レンタルファミリー」
 (27日公開)★★★★★

俳優という仕事の本質を突く

かつて日本で撮影されたCMで一世を風靡したものの、近頃は世間に忘れら

れたアメリカ人俳優のフィリップ(ブレندان・フライザー)は、細々と俳優業を続けながら東京で暮らしていた。ある日、フィリップはレンタル・ファミリー会社を経営する多田(平岳大)から仕事を依頼される。レンタル・ファミリーとは、依頼人にとって大切な「家族」のような役割を演じることで報酬を得る仕事だった。



©2025 Searchlight Pictures. All Rights Reserved.

日本人監督のHICKARIEがメガホンを取り、全編を日本で撮影したヒューマンドラマ。レンタル・ファミリーの仕事を通して、フィリップと周囲の人々が自分自身を見つめ直していく姿が描かれ、演じること、なりすますことで見えてくるものが明らかにされるのだが、それは俳優という仕事の本質を突いているようにも思える。「ザ・ホエール」でアカデミー主演男優賞に輝いたフライザーが、受賞後に最初に選んだのがこの作品と聞いて驚いたが、その選択は案外理にかなっているのかもしれない。(映画ライター 田中雄二)

グリーン＆ブルー

いまこそ見直したい畳文化



青山浩子
あおやま ひろこ 新潟食料農業大学教
授・農業ジャーナリスト。1999年から
ジャーナリストとして、全国の農業現場を
取材し、雑誌・新聞などに寄稿。2018年
新潟食料農業大学講師、24年から現職。

よ、和室が圧倒的に主流だった昭和の頃、イグサ産業は活況を呈し、収益性が高いイグサは「青いダイヤ」と呼ばれた。それが2000年に入って急増した中国産の畳表により、国産市場が次々に奪われた。和室そのものも減り、畳の需要も細った。かつてはイグサの産地だった広島、岡山、福岡各県ではほとんど生産されず、残るは八代市だけになった。

その後、潮目が変わった。表面がきめ細かく、年月がたっても変色しにくい優良品種が国内で開発され、安価な中国産と明確に差別化できるようになった。減ったとはいえ、畳を交換する一戸建て住宅の安定需要もある。供給が増えないいま、畳表の価格は上昇を続けている。

久しぶりに八代市のイグサ産地を訪ねた。価格低迷の時代が長く、近年の高値でいきなり後継

者が増えるというような単純な構造になってはいない。畳表の自給率も20%で横ばいだ。

だが、ベテラン農家に混じって奮闘する若手農家たちは実に頼もしい。20代の若手は「年間通じて安定して仕事があるところがいい」。別の40代も「データを活用し、安定した収量や品質を目指します。5年後、また訪ねてくださーい」と言った。

イグサ農家はいずれも数台の織機を保有しており、原料生産から加工まで貫いて担う点が特徴。「農家でもあり、工芸家（芸術家）でもある」というあるベテラン農家の言葉は言い得て妙だ。

「生産から加工まで」と簡単に書いたが、イグサを織る前には、収穫したイグサを泥水に浸す「泥染め」という作業もある。丈の長いイグサの乾燥状態を均にし、香りを長持ちさせる大切な

工程だという。

そんな匠の技がイグサ産地を支えてきたが、新規参入がしにくい高い壁にもなっている。若手農家も「同年代のイグサ農家がいなのは寂しい」という。

それでも、産地維持に向け、業界全体が動き出している。イグサの供給不足を補おうと、イグサづくりに乗り出した問屋がいる。

一方、「まずは需要を増やすことが先決」と、畳表を使ったおしゃれな小物を開発し、カフェも運営する若手の畳店主もいる。国産のよさで差別化に成功した今治タオルを参考に、産業の維持発展を図ろうという動きもある。

残念ながら筆者の自宅にも畳敷きの和室がない。それでも八代市で上質な畳表を踏みしめ、快感を味わった。日本の文化を守るために一消費者としてできることをしようと考えている。

こう 福の源 食



食育実践ジャーナリスト
安武郁子
やすたけ・ゆうこ
(株)eatright japan 代表取締役
役。良食検定。主宰。歯科から食育、良食（良い食べ方）の普及に取り組む。

一口を大切に 生きるということ

私が担当してきました「一口福の源」の連載は、今回が最終回となります。

ここまで連載を担当させていただき、ありがとうございます。

この連載のご依頼をいただいたとき、テーマが「一口福の源」と伺い、長年私自身が発信し続けてきた想いと重なり、胸が高鳴ったことを昨日のことのように思い出します。

これまで本連載では、さまざまな角度から「良食」良い食べ方についてお伝えしてきました。

何を食べるかも大切ですが、どう食べるかも同じくらい大切ということです。

日々の良食の積み重ねが、日々の幸福感を大きく左右すると、私は感じています。

幸福は口福から

「幸福は口福から」。これは、



© Getty Images

私の講演テーマの一つです。

人間の最期まで残る欲のひとつが「食欲」だといわれています。この大切な欲を守るためにも、日々の良食は欠かせません。美味しさを感じるためには必要なのが「唾液」です。

唾液は、よく噛んで食べることで分泌されます。

歩かないと歩けなくなるように、噛まないで噛めなくなる。

噛まなくなると、口の周りの筋肉が衰え、口呼吸になりやすく、朝起きたときに口の

中が乾燥していることも増えてきます。

唾液の分泌も減り、口福を感じる力そのものが衰えてしまいます。

そう考えると、唾液こそが「一口福の源」といえるのかもしれない。

「福」という字が 教えてくれること

「一口福」の「福」という字を、左から分けてみると「一口（ひとくち）田（た）ね」と読むことができます。

江戸時代、寺子屋の先生たちはこのように教え、一口の幸せに感謝し、よく噛みしめ、深く味わって食べることの大切さを、繰り返し説いたそうです。

幸福は、特別なことではなく、感じるものではありません。「一口を大切に」ところから始まる。

その教えは、今の時代にも通じるものではないでしょうか。

元気も病気も、口から

口は、食べ物（命）をいただく

入口であると同時に、言葉が発する出口でもあります。

言葉ひとつで人は傷つき、言葉ひとつで人は笑顔になります。

自分の体に必要な食べ物を選ぶように、人を元気にする言葉、心が喜び言葉を選びたいものです。

食べ方という「習慣」

身についた習慣を変えることは簡単ではありません。けれど、悪い習慣が積み重なれば、やがて生活習慣病につながります。

生活習慣病とは、まさに食生活習慣病。どう食べるかは、どう生きるかにもつながっています。

この連載を通して、一人でも多くの方が、ご自身の食べ方に少しでも興味や関心を持ってくださっていたら、これ以上の喜びはありません。長らくのご愛読、誠にありがとうございます。

「不安なくなつた」

昨年8月に生理が始まった小学6年の結衣さん(仮名)は、腰

どもと心クリニック(東京)のピル外来(生理外来)を受診。女性ホルモンをコントロールする薬(黄体ホルモン製剤)を飲み始め

同じく6年のさ

くらさん(仮名)

も2日目は痛みで

食事もできないほ

どだった。外出先

で動けなくなり、

タクシーで帰るこ

ともあったが、薬

を飲んで症状が

和らいだ。生理と

重なって参加でき

ないのではと

心配だった、合唱

コンクール参加

の不安もなくなったという。

総合診療医・家庭医で同クリ

ニックの栗原史帆医師は「生理

のつらさは個人差があるが、医学

的に対応する方法が複数あり、

我慢するものではない」と強調す

る。「小学生でも使用できる薬は

複数ある。薬によっては将来の子

宮内腺症や卵巣がんなどのリス

クを減らす効果もあるとされて

いる」



フローレンスこどもと心クリニックの栗原史帆医師

くらし 2026

小学生から「生理外来」 「つらさ、我慢しないで」 受診に高いハードル

「毎月しんどい」「痛みがつらい」。小学生がそんな生理の悩みを相談できる診療所が増えつつある。小学6年の女子は約6割が月経を迎えているとされ、重い症状を我慢している子どもは少なくない。受験や大事な行事と重ならないようにしたいという切実な声もある。受診をためらいがち な子どもの立場に立って、治療や支援をするのが狙いだ。

同クリニックが生理外来を開

設したのは田中純子院長自身

の経験がきっかけだ。2人目の子ど

もを出産後、出血量が増え、仕

事は何かかできても、帰宅後や

休日は寝込むことが多くなった。

健診で婦人科医に相談したが、

「1日、2日だけなら大丈夫と一

蹴された」。その後症状が進み、

階段で息切れするようになった。

調べると血中のヘモグロビン濃

度は正常だが体内の「貯蔵鉄」

が減少している。かくれ貧血。

痛や腹痛、気持ち悪さに悩まされた。婦人科で痛み止め薬を処方されたが、よくなりず、昨年6月に開設された「フローレンスこ

どもと心クリニック」で「生理」の時も学校を休まず好きなドッジボールができるようになってうれしい」と結衣さん。

の状態にあることが分かった。

そんな時、治療法がある」と知り、試してみると、すっかり症状がなくなった。

「同時に、長い時間つらい症状を我慢してきたことを後悔した」。「医療に近い



女性の健康と自己決定を支援するための医療・ヘルスケア情報メディア「Crumii」編集長の宋美玄医師

医師の自分でさえ、なかなか治療にたどりつかなかった。多くの女性、とりわけ小中学生はもっと難しいに違いない」と開設を決めたという。

「子どもの場合、部活ができないなど何かをあきらめなければならぬケースも多い。大人と違って学校生活では、例えば漏れたのではと不安になっても、自由にトイレに行くこともできない」と田中院長。

9割が「つらさ」経験

大阪大の研究報告(2013

年)によると、小学6年で生理がある割合は58%、5年で25%、4年で7%に上る。

認定NPO法人「フローレンス」が昨年9月に生理の経験がある384人(うち小中高生82

人)に実施したインターネット調査では、小中高生の93%が「生理の時につらいと感じたことがある」と回答。71%が「生活に支障があった経験がある」と答

えた。

具体的には複数回答で、「授業に集中できなかった(80%)」「体

育・水泳に参加できなかった(64%)」「漏れや汚れが心配で行動を制限した(62%)」「授業を欠席、遅刻、早退、見学した(48%)」などだった。

子どもの頃に生理の困りごとで病院を受診、治療を受けた経験のある大人は12%。大人になってから病院を受診した人のうち、73%が「子どもの頃に受診したかった」と答えた。

ただ、思春期になると小児科への受診機会は減り、子どもが婦人科を受診するのもハードルが高い。診療科のすき間に落ち

受験で増える相談

小学生の患者も積極的に受け入れているInaba Clinic

(東京)の稲葉可奈子院長(産婦人科)は「小学生でも生理痛は婦人科で治療できる。特に受験シーズンは相談が多い。学校で生理について学ぶ時に、治療についても教えるといいのではないか。親の理解も必要だ」と話す。

子どもが受診できる婦人科などの情報は、ネット上で女性の健康と自己決定を支援するための医療・ヘルスケア情報を発信するメディア「Crumii」(クルミー)でも検索できる。

編集長の宋美玄医師(産婦人科)は、「対応できる診療所は都市部を中心に増えている。生理が来る年齢は早まる傾向にあり、初潮年齢が低いほど生理痛などをコントロールする治療が必要

なのではないか」と指摘している。(共同通信記者 尾原佐和子)

船と共に島で暮らす私たち

昨年10月に、新日本海フェリーの新造船「はまなす」の命名・進水式が山口県下関市の三菱重工工業下関造船所江浦工場で行われた。

「はまなす」は今年6月に、北海道小樽市と京都府舞鶴市を結ぶ航路に就航する。新造船の進水式で行う支綱切断は、日本旅客船協会の船旅アンバサダーを務める私が担当させていただいた。

これまで何度か進水式に出席しているが、新たな船の誕生は涙がこぼれるほど胸を打たれる。島国である日本で、長い歴史をかけて先人が培い、後世に伝えてきた技術の結晶が形となるのだから。

新日本海フェリーの航路は、かつて北前船が往来した「西廻り航路」の一部をなぞる日本海ルート。

江戸時代、江戸の人口が爆発的に増え、幕府は天領である出羽（現在の山形・秋田県）のコメを大量に運ぶため、河村瑞賢に命じて安全な海上輸送ルートを開拓させた。航路の開拓には、瀬戸内海の島々をはじめ、

和島の日希の作家旅



全国よりすぐりの水夫たちが貢献した。また、1度に千石のコメが運べるといふ千石船も建造され、北前船と呼ばれている。私が毎年訪れている香川県塩飽諸島の島々も、そんな水夫や造船に携わった人々の子孫が多くいる。

いく起点だった地域。そこで、市内に残る船宿帳には、北前船の水夫たちの出身地が記され、瀬戸内海の地名が残っていると聞いた。

酒田港の北西約39キロ、船で75分の位置に山形県唯一の有人離島、飛島がある。バードウォッチングの聖地として知られ、海鳥などの鳴き声が飛び交ってにぎやかだった。

島内には、北前船が酒田港へ出入りする際に、風待ち・潮待ちのため立ち寄りた形跡が残る。例えば、港近くの遠賀美神社。航海安全の神様を祀る神社で、北前船の水夫たちも参拝していたという。その証に、彼らが滞在中に作った小さな石の狛犬が境内にある。定期船が入港する港付近の鎗岩には、北前船を係留した石柱もある。

船は日々、止まることなく進化を遂げている。それは日本が島国であり、船が今も重要なインフラであることを思い知らされる。今年6月、先人が築いた歴史的航路に、最先端技術が詰まった船が就航する。島で生きる誇りを胸に、乗船したいと思



KOBAYASHI Nozomi 1982年生まれ。出版社を退社し、2011年末から世界放浪の旅を始め、14年作家デビュー。香川県の離島「広島」で住民たちと「島プロジェクト」を立ち上げ、古民家を再生しゲストハウスをつくるなど、島の活性化

にも取り組む。19年日本旅客船協会の船旅アンバサダー、22年島の宝観光連盟の島旅アンバサダー、本州四国連絡高速道路会社主催のせとうちアンバサダー。新刊「もっと！週末海外」(ワニブックス)など著書多数。

本の森

街の背景にある
メカニズム



『歩いて学ぶ都市経済学』

中島賢太郎・手島健介・山崎潤一 著

- 248 ページ
- 2640 円
- 日本評論社

国際的なシティーガイド「タイムアウト」が選ぶ「2025年版・世界で最もクールな街」ランキングで、東京・神保町が1位に選ばれた。古い情緒あるレトロな商店と、現代的で尖ったデザイン

の建物の混在が、クールな雰囲気を作り出しているという。

では、街はなぜそのようなものになるのだろうか。どんな街にも、その街を形づくった背景にはさまざまな思想があり、それを経済学の側面から解き明かしているのが、都市経済学だ。

なぜショッピングモールや商店街は人を引き付けるのか、なぜ千葉県流山市は子育ての街

として有名になったのか、なぜ湾岸にタワーマンションが林立するのか。本書は、都市経済学を専門にする3人の大学教授・准教授が、都市経済学における最新のトピックを都市経済学の学問で捉えて解説するものである。

神保町の古書店街、竹下通りのファッションストリート、浅草かっぱ橋の調理器具通り。このように、同業種の店舗が集積した街を経済学では商業集積と呼ぶ。いわばライバル店である店舗がたぐさん立ち並ぶ商業集積は、顧客の奪い合いになることも想定されるが、なぜ商業集

積が発生するのだろうか。

その答えは、「ショッピング外部性」にある。複数の店舗が近くに集まることによって、双方の集客力を上げる効果をショッピング外部性と言います。同業種店舗だが少しずつ違うものを販売することで、店舗間を移動する移動費用（交通費）は減り、心理的な負担を含む「低減し、ついで買い」を促進することができる。

では、ショッピング外部性による便益が高い業態と低い業態はそれぞれどのようなものか、アマゾンのようなeコマースによるオンラインショッピングは

商業集積にどのような影響を与えるのか、さらなる疑問にも踏み込んでいく。

神戸市都心部のタワマン規制、いわゆるタワマン節税の禁止、現在議論されている外国人土地購入規制の行方など、不動産は法や条例との関係も根深い。本書では、土地利用規制が地価に与える影響の具体例として、福岡市博多区の事例をもとにした実証研究も紹介されている。

巻末には、「座って学ぶ経済学」として、本書で扱いきれなかったトピックを学ぶための導入書籍や、使用された分析ツールの入門書、テーマが類似した初学者向けの入門書、テレビ番組なども紹介されている。本書を読むと、街の不思議に自然と目が向くようになる。読んだ後に街を歩くのが楽しくなる1冊だ。

(明治学院大学経済学部 准教授 加藤木綿美)

7 DAYS SCHEDULE (2.23 → 3.1)

今週の動き

国内

- 2/23(月)・天皇陛下66歳の誕生日
- 2/24(火)・3～5月の3カ月予報・暖候期予報(気象庁)
- 2/25(水)・2025年の全国マンション市場動向(不動産経済研究所)
- 2/26(木)・東京電力柏崎刈羽原発6号機(新潟県)が営業運転開始
 - 約3370ヘクタールが延焼した岩手県大船渡市の山林火災から1年
 - 二・二六事件から90年
- 2/27(金)・1月の鉱工業生産指数速報(経済産業省)
 - 1月と25年の宿泊旅行統計(観光庁)
 - 2月の東京都都区消費者物価指数(総務省)
- 2/28(土)・名古屋駅前の名鉄百貨店本店が閉店

- 3/1(日)・県庁所在地市長選告示=金沢
 - 27年卒業予定の大学生・大学院生に向けた会社説明会が解禁
 - 高野の火まつり※霊場・高野山に春の訪れを告げ、四国八十八カ所など全国の霊場開きの合図となる恒例行事(和歌山県高野町)
 - 修二会本行※東大寺大仏開眼と同じ752年から途切れることなく続き「不退の行法」と言われる。古都に春の訪れを告げる伝統の仏教修行(～14日、奈良市)

国際

- 2/23(月)・欧州連合(EU)外相理事会(ブリュッセル)
- 2/24(火)・ロシアのウクライナ侵攻から4年
- 2/27(金)・1月の米卸売物価指数(ワシントン)



ART探訪

ミュージアム コレクション特別篇
開館40周年記念

世田美のあしあと
—暮らしと美術のあいだで—

- 会場: 世田谷美術館
東京都世田谷区砧公園1-2
- 会期: ～4月12日(日)
- 開館時間: 午前10時～午後6時
※入館は閉館30分前まで
- 休館日: 月曜日(2月23日は開館)、2月24日(火)
- 料金: 一般220円、大高生170円
65歳以上/中小生/障害者110円
*世田谷区内在住・在校の小・中学生は土、日、祝・休日は無料。
*3月28日(土)、29日(日)は無料観覧日。



塔本シスコ 《絵を描く私》1993年

1986年、緑豊かな東京都立砧公園の一画に開館した世田谷美術館は、今年で40周年をむかえる。建築家・内井昭蔵によるユニークな建築空間をいかし、さまざまな展覧会を開催するほか、演劇、舞踊、音楽のイベント、各種講座や学校との連携事業といった幅広い活動から生まれた地域とのつながりも美術館を支えている。根底には、人々の暮らしや心に関わる芸術のあり方を探求しようとする姿勢がある。

本展では、アンリ・ルソー、北大路魯山人などの人気作品が一堂に会し、収蔵作品と資料を通じて現在までを振り返り、これからの活動へとつないでいく。

ART探訪は今号で休載します。

HOT INFORMATION

共同通信PRワイヤー(<https://kyodonewsprwire.jp/>)が配信したプレスリリースの商品を中心に紹介しています

運河沿いに「セカオピ川柳」を展示 ティーベック、しながわ花海道に56作品



展示しているのは、2020年、25年に実施したセカオピ川柳コンテストの入選作品から選出した56作品。「セカオピは 自己決定の 道しるべ」「セカオピを 広めることも 支え愛」「あるべきだ ひとつの命に ふたりの目」といった川柳を書いた看板を勝島運河沿いに設置した。

医療・ヘルスケアサービスを提供するティーベック(東京)は、NPO法人しながわ花海道と協力し、しながわ花海道(勝島運河防潮堤・東京都品川区)に「セカンドオピニオン川柳(セカオピ川柳)」の看板を展示した。3月末までの予定。

2月14日は「2番目の医師(2・14)」と読めることから、ティーベックは「セカンドオピニオンを考える日」と制定。

主治医とは別の医師の意見を聞く「セカンドオピニオン」の理解を深めることを目的としており、今回の展示はこれに合わせた啓発活動として企画したという。

熊本大と総合メディカルグループが包括連携協定 大学研究と地域医療現場の知見を融合へ

熊本大学(熊本市)と医療機関のコンサルティングなどを手がける総合メディカルグループ(福岡市)は、医療人財の育成・役割再定義を中核とした包括連携協定を締結した、と発表した。

大学の高度医療・研究の知見と、地域医療の現場を熟知した企業の実装力を融合させ、現場で機能する医療モデルを構築することを目的としているという。

具体的には、①循環器・がん領域を軸とした多職種連携教育・人材育成モデルの構築 ②退院後の服薬支援や在宅療養支援を含む、シームレスな医療・ケア体制の実装 ③薬剤師をはじめとする医療人財の役割再定義とスキルアップ ④現場で検診・改善を重ねる「実装型モデル」の確立の一の取り組みを推進する、としている。

熊本大の小川久雄学長は「総合メディカルグループとの連携により、教育・研究と現場実装を結びつけ、熊本から全国に発信できる新しい医療人財モデルを創出していきたい」と強調。

一方、総合メディカルグループの多田荘一郎社長は「熊本大学の知見と当社の現場力を融合し、その答えを熊本から全国へ広げていく」とコメントした。

国立大学法人熊本大学と総合メディカルグループ株式会社との
包括的連携に関する協定調印式

